

# 俳句文学館

発行所  
社団法人  
俳人協会  
東京都新宿区  
百人町3-28-10  
郵便番号160  
電話(03)367-6621  
(代)  
発行人 草間 時彦  
定価 100円(送料別)  
(年1,000円送料  
300円)  
振替口座東京  
6-273番

## 温顔文学館とともに

### 故角川源義氏レリーフ除幕式

## 図書閲覧室壁面に

俳句文学館では、四月三日、故角川源義氏の胸像(レリーフ)の除幕式を盛大に行なった。レリーフは同館二階の図書閲覧室の壁面に掲げられた。除幕式は同日午前十一時、故人の親友、東京大神宮松山宮司が祝詞を述べ、式は進行司会は古館晋人理事が担当。除幕は故人の末子角川照子さんの手によって行なわれ、生前の角川氏の温顔がレリーフとなって壁に飾られた。

### 遺族、知友らが参列

開覧室にぎわいの参列者は、角川照子、角川照彦、辺見じゅんさんらの角川家の一族、角川書店関係者、角川文化振興財団理事長山本健吉氏、故人の友人の堀武夫氏、三谷昭氏ら、それに遺族一考主宰以下の俳誌「河」の人々、俳人協会関係者など約百名を越えた。レリーフは富山県高岡市の製造家米治一(「メイチ」)氏で、氏は銅像などの制作について、世界最高水準とされており、遺族の最高権威とされ、同氏の手になるものがある。今般の除幕式には八十一歳の高齢にもかかわらず、はじめに長く会長を勤められた水原秋櫻子先生に深長の謝意を表したと存じます。協会が今日の隆昌を得たのは先生に負うところが多いと述べました。このたび、ご高齡の故をもつて会長を退かれ、名誉会長になられました。ご健康にご留意、末長いご教示をどうぞお願いいたします。



あいさつする角川文化振興財団山本理事長



遺族を代表してあいさつする角川照彦氏

### 文学館建設に寄せた故人の熱意

こもごも、意義や秘話

角川照子さんの除幕、松山宮司

なつてもウワゴトで俳句文学館のこと心配していた。しかし、俳句文学館の竣工を見ることなく逝ったのである。竣工式に際し、俳人協会役員会は故角川委員長を顕彰することを決議し、館内に句碑を建てるといふ案も出たが、句碑は他の場所に行くことになり、レリーフをとったのである。故角川源義氏は昭和四十年十二月であり、そのときは角川源義氏は建設委員長として元氣な姿を見せ、クワを入れた。その後、翌五月七日ごろより不調を訴え、八月入院、十月二十七日に肝臓ガンで死去。遺族が不明と評を提供するといふ申し出もあつた。

### 中央・地方の連携こそ急務

ご挨拶 大野 林 火

はじめに長く会長を勤められた水原秋櫻子先生に深長の謝意を表したと存じます。協会が今日の隆昌を得たのは先生に負うところが多いと述べました。このたび、ご高齡の故をもつて会長を退かれ、名誉会長になられました。ご健康にご留意、末長いご教示をどうぞお願いいたします。さて、俳人協会も現在会員四千六百有余名、本年度新会員を加えれば五千にならんとしております。その分布も全国津々浦々に及びました。そうした全国を重んじて参りましたが、各地に会員がいないの生まれての増大とともに、地方と中央の連携はよいよ大事になりま



今般、新理事五名を加え、協会役員も一層の充実を遂げました。ご教示の御支援、ご協力をお願いいたします。このあと、会場を地下の大会議室に移し、懇親パーティーを開いた。指名された堀武夫氏は次のように故人の懐い出を語った。「自分は故人とは中学の同級生である。彼は非常な努力家で、四百百競争のとき、陸上中のマナーシャードに出場、途中中で落伍するつもりで初めからトップを走らせた。そのさま、優勝してしまつたことがあつた。中学時代から国語漢文が得意だつた。中学時代の思い出をなつかしげに述べたあと、三谷昭氏が俳句文学館建設の初期に発起人となるよう依頼された秘話を語り、盛會のうちに、進藤一考氏の閉会の言葉で会を閉じた。

### 五月集

花桐 桑原 視草 鳥根  
出遊びの若きらに鳥文みけり  
あかつきの花桐仰ぐ和服にて  
薫風に身もかろがると老いにけり  
横手かまくら 田村 了映(盛岡)  
かまくらや紙絵のごとく灯る城  
夢汀とかまくら灯る橋に逢ふ  
かまくらの背をかまくらの灯が照らす  
大竹きみ江(大阪)  
春の日 大竹きみ江(大阪)  
めをど難私語のあとなる口味み  
初蝶の羽づかひ迅し子の眼外れ  
遠うぐひすふたたび紙屋川へだて  
松村 董石(東京)  
葉より萌ゆいたいの山桜かな  
温泉窓より麓見ゆ山さくら  
櫻村慈恵(寺)  
誕生佛老老のわが手に立たす  
佐野まもる(徳島)  
踏青の蹤  
春分の日を対岸に赫く當つ  
鳥鷹わが踏青の蹤ありく  
遍路乗せ急々必要な片手漕ぎ

### 春夏秋冬

「自分は故人とは中学の同級生である。彼は非常な努力家で、四百百競争のとき、陸上中のマナーシャードに出場、途中中で落伍するつもりで初めからトップを走らせた。そのさま、優勝してしまつたことがあつた。中学時代から国語漢文が得意だつた。中学時代の思い出をなつかしげに述べたあと、三谷昭氏が俳句文学館建設の初期に発起人となるよう依頼された秘話を語り、盛會のうちに、進藤一考氏の閉会の言葉で会を閉じた。

### 俳句大歳時記

眼でみる歳時記の超集大成

普及版 ■全五巻 ■B5判平均六〇〇頁  
春・冬・新年 三六〇〇円/夏・秋 四二〇〇円

実用歳時記の決定版  
新版 俳句歳時記  
A5判 一一六頁  
定価 一五〇〇円

角川版 季寄せ  
A6判 四五四頁  
定価 一〇〇〇円

〒102 東京都千代田区富士見二ノ十三ノ三  
角川書店  
(電話)〇三二六五七一一

---

### 新編 俳句歳時記

講談社版/全五巻  
編者 清崎敏郎/草間時彦/鷹羽狩行/野澤節子/森澄雄 (五十音順)

もつとも現代的な角度からの季題選定。精密、正確、懇切な解説、全国の結社を網羅する新鮮で豊富な例句を収載!

■全巻編成  
「春」 鷹羽狩行編 好評発売中  
「夏」 草間時彦編 六月刊  
「秋」 清崎敏郎編 八月刊  
「冬」 野澤節子編 十月刊  
「新年」 森澄雄編 十二月刊

■収録内容  
■造本・体裁  
全巻季節・季語 二〇〇〇頁  
全巻例句 四〇〇〇頁  
定価 一、二〇〇円  
新書判横長 (16・8cm×10・8cm)  
口絵カラー八ページ  
本文約四四六ページ

### 俳句大歳時記

眼でみる歳時記の超集大成

普及版 ■全五巻 ■B5判平均六〇〇頁  
春・冬・新年 三六〇〇円/夏・秋 四二〇〇円

実用歳時記の決定版  
新版 俳句歳時記  
A5判 一一六頁  
定価 一五〇〇円

角川版 季寄せ  
A6判 四五四頁  
定価 一〇〇〇円

〒102 東京都千代田区富士見二ノ十三ノ三  
角川書店  
(電話)〇三二六五七一一

阿部みどり女氏に

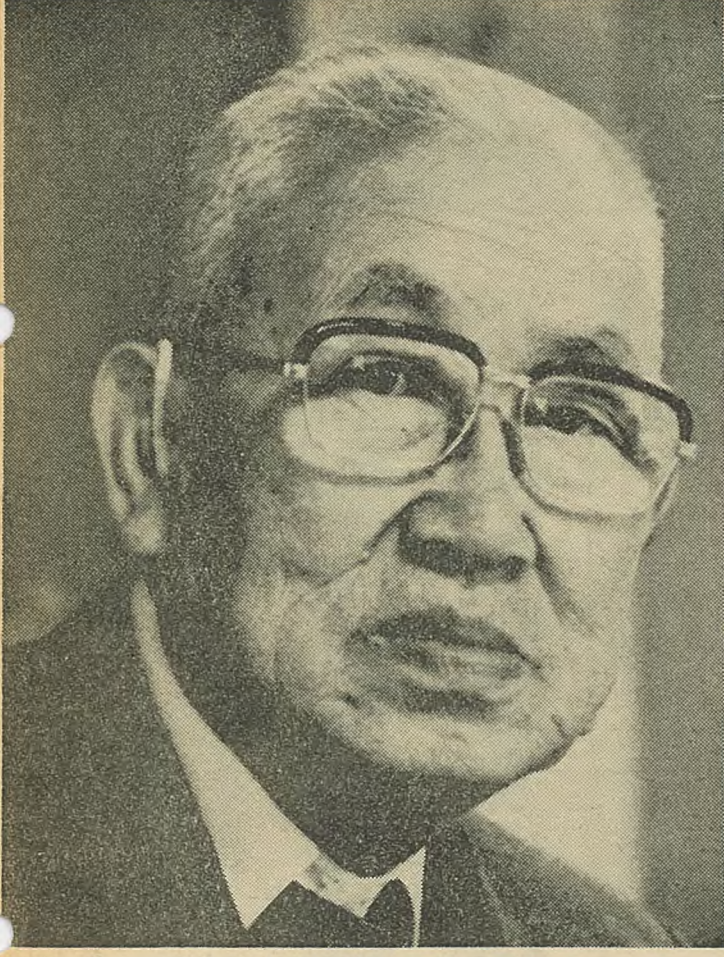
第12回蛇笏賞

角川文化振興財団「月下美人」財団で決める句集

角川文化振興財団では、さる四月七日、山本健吉理事長、飯田龍太、沢木欣一、野沢道子、森澤雄、各選考委員出席のもとに選考委員会を開催、第十回蛇笏賞に阿部みどり女氏を選んだ。

世界を歩く飛鳥大仏

数年前、蛇笏賞を受けた時「俳句に先生のプロフィールを載せてほしい」とアルカイックス



「世界を歩く」といふさまま行かれ、中でも「旅歴を歩」日本最古の仏として幾多の戦火をくぐり、なお笑みつづける飛鳥大仏である。

千人日の閲覧者に記念品

俳句文学館委員会 図書委員

俳人座右の書

三代にわたる二五〇〇の項目

編者は、多年にわたる自ら収集した俳書、俳誌等選定資料の上から、独自の学問的・体系的方法をもち近代俳句史を研究する。

阿波野青歌

先生は明るい庭に出て待つていらした。

「春の風邪の青歌なんて、誰かすね」と春風邪まさきまじいといふと、うんうん

現代俳句選集第五集を頒布

現代俳句選集第五集は、協会委員

昭和俳句の金文字塔

「昭和俳句の金文字塔」を頒布

本誌各項目の選定には、周到な配慮のもと、公平な選定を期し、お祈りし、その意図を述べています。

子規の食欲

正岡子規は、胃腸が丈夫た

「現代俳句選集第五集」を頒布... 頒布費 二〇〇〇円

原裕俳句教室... 講師 原裕 (連続講義 五回)

細見綾子俳句教室... 講師 細見綾子 (連続講義 五回)

現代俳人墨筆集 (好評発売中) 富安 風生 『梢の花』

四季随筆 (夏) 収録作家 ● 第一編 富安 風生 ● 第二編 水原秋櫻子 ● 第三編 山崎 ひさ子

東京美術 四季随筆 (夏) 収録作家 ● 第一編 富安 風生 ● 第二編 水原秋櫻子 ● 第三編 山崎 ひさ子



俳句の窓

五月の句

懐しきもの一つに菖蒲太刀

石塚友二

所用があつて四月のほじめ...

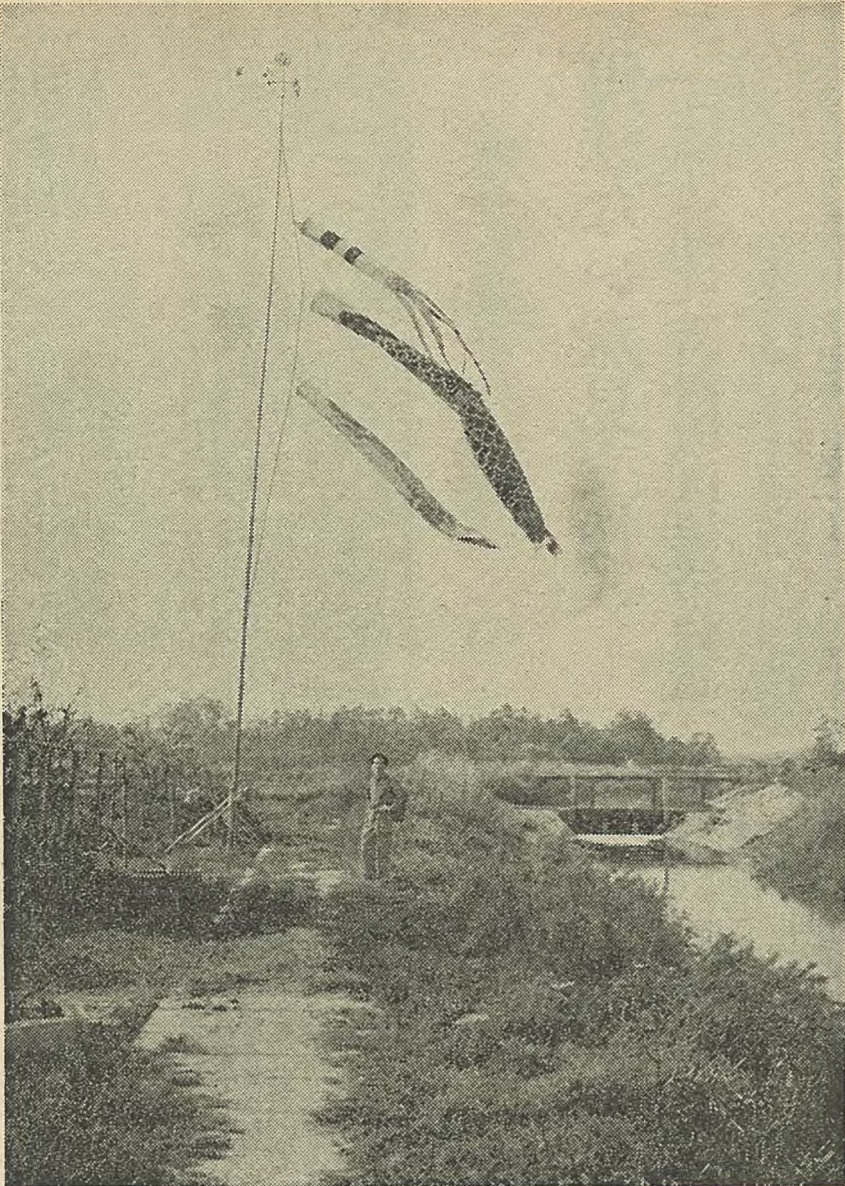
「山火」昭和二十年七月号...

泰山木樹頭の花を日に捧ぐ

福田 夢汀

「山火」昭和二十年七月号...

初出「第二回俳句選」所載...



秋篠川



大和の西ノ京には唐招提 寺...

(文・写真 沢田政四郎)

東洋城師生誕生百年式典



松岡 凡草

昭和五十三年二月二十五日は...

地から眺め、桃の花の飄揚句と...

今月三月三十一日(水)は...

追悼

昭和52年 鈴木探山(7・20) 年輪...

四月二十三日、富山から...

俳壇消息

富山地方で、鳥のウソの...

今月(約一万本)が、やっと見...

編集室から

この欄にサインしたあと、朝日新聞の東京版に次のような記事...

連休の前に交通ゼッケンがあ...

自註現代俳句シリーズ

第一期 大野林火集より...

第二期 紫陽花や旅立つ前の稿ひとつ...

東京都新宿区百人町三十一番一〇

第二期 大野林火集より...

第二期 紫陽花や旅立つ前の稿ひとつ...

第二期 紫陽花や旅立つ前の稿ひとつ...

第二期 紫陽花や旅立つ前の稿ひとつ...

第二期 紫陽花や旅立つ前の稿ひとつ...

第二期 紫陽花や旅立つ前の稿ひとつ...

第二期 紫陽花や旅立つ前の稿ひとつ...